

## 第2部 環境学習モデルプログラム

第2部では、地域・学校・家庭で取り組める環境学習のモデルプログラムを、小中学生の発達段階に応じて紹介します。

学習活動のねらい、地域や学習者の実態から、適切なプログラムを選択し、必要に応じてアレンジして下さい。

### 第2部の構成

本部のプログラムは、すべて次の内容で構成されています。

- ①テーマ ②学習のステップ ③題名・実施可能時期 ④学習のねらい
- ⑤場所・時間・対象 ⑥用意するもの ⑦学習のすすめ方 ⑧応用編・発展編
- ⑨実施上の工夫・留意点 ⑩一口メモ、説明用シート ⑪ワークシート

①～⑩の学習のすすめ方についての説明部分は、指導者が学習プログラムを企画・実施する参考資料として作成していますので、指導者向けの表現になっています。

⑪の「ワークシート」は、このままコピーして子どもたちに配布し、記入していただけるようにしています。

### 学習テーマの分類

環境学習のテーマは、総合的・横断的でカテゴリーを分けるのは難しいのですが、本章では、指導者が参考プログラムを選びやすいように、大きく「自然」「生活・社会」の二つのテーマに分け、さらに「水」「大気・地球温暖化」「生き物（動植物）」「5R生活」「消費生活－グリーン購入」「地域文化・歴史」「国際理解・インターネット」にテーマを細分化して示し、さらに「環境モラルチェック表」をつけています。

このテーマ分類にそって、プログラムを紹介しています。

- |     |  |
|-----|--|
| 自然  | ■=水（生活排水、森－川－海のつながりについて学ぶプログラム）                                |
|     | ■=大気・地球温暖化（大気汚染、温室効果ガスの問題に取り組むプログラム）                           |
|     | ■=生き物（生き物観察から環境理解を深めるプログラム）                                    |
| 生活・ | ■=5R生活（ごみを少なくするライススタイルを身につけるプログラム）                             |
| 社会  | ■=消費生活（環境に配慮した買い物－グリーン購入に取り組むプログラム）                            |
|     | ■=地域文化・歴史（地域の文化や歴史を学び地域づくりを考えるプログラム）                           |
|     | ■=国際理解・インターネット（環境問題についての情報収集力を養い、地球規模で環境問題の原因や解決法を考えるためのプログラム） |
- ※「環境モラルチェック表」（人として大切にしたい共通の価値観を確認する）

## **学習段階（ステップ）の分類**

環境学習は体系的・継続的に行い、学習によって環境への理解を深め、環境問題を解決する行動力や技術を磨き、高めていく必要があります。そこで、環境学習を初めて行う段階から、学習を深め、環境学習の目標である「持続可能な社会を構成する担い手」となるまでの学習のステップを四つの段階（ステップ）で示します。

四つのステップの名称は、環境省総合環境政策局編『持続可能な地域づくりのためのガイドブック』に示される「”持続可能な地域づくり”をすすめる4つのプロセス」に準じました。

### **ステップ1：「きっかけ」**

身の回りの環境に関心をもち、自然の恵み・神秘に感謝・感動し、環境を大切にする心を育む段階です。小学校低学年から取り組むことができます。

### **ステップ2：「はじめの一歩」**

環境問題と人のライフスタイルとのかかわり等、「調べ学習」を通じて、環境問題が起こる要因や私たちができること、すべきことを理解する段階です。

小学校中学年くらいから取り組むことができます。

### **ステップ3：「つぎの一歩」**

感じたり理解したりしたことを基に、環境保全活動に参加する態度や問題解決能力を身につけ、行動に移す段階です。小学校高学年から取り組むことができます。

### **ステップ4：「さらに」**

学んだり行動したりしたことを他の人々に伝え、環境活動を実践する仲間を増やす情報伝達・コミュニケーション能力を身につける段階です。

中学生から取り組むことができます。

全プログラムをステップ分類していますが、同じプログラムの中でも、応用編・発展編として「ステップアップメニュー」を掲載しているものもあります。

ここで示した学年は、あくまで目安です。小学生でも、ステップ4まで進んでいいし、中学生でもステップ1から学び始めて構わないので。ステップは、1から4まで行った後、また1に戻るというように、繰り返しながら深めていくものです。

学習者の関心度や、環境学習・環境活動のキャリア・実績に応じて、プログラムを選んで下さい。

## **ワークシートのダウンロードと送信**

当プログラムのワークシートは、兵庫県環境局のホームページからもダウンロードできます（<http://www.pref.hyogo.jp/JPN/apr/index.html>）。

学習を実施して、ワークシートに記入したら、兵庫県の下記のメールアドレスあて送って下さい。県内のいろいろな地域から送られたシートの内容を、県のホームページやニュースレター「こども環境通信」に掲載します。学習の成果を情報発信して、県内のいろんな地域の子どもたちと情報交流して下さい。

**ワークシート送付先 kankyouseisakuka@pref.hyogo.jp**